

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育内容人間関係 field of human relations on childhood		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修・教職課程必修(幼稚園教諭二種))	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教育原理、教育実習事前事後指導等の教職科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に偽つ陽那科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林研介	講義棟1階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
子どもの発達のそれぞれの時期(年齢)ごとの人との関わりの特徴と意味を理解する。 保育者の役割と影響の大きさを理解する。 保育者として、子どものそれぞれの時期にどのようなかかわりが望ましいか理解する。				
授業の目標				
①乳幼児のヒトとの関わりの重要性を理解することができるようにする。 ②各時期(年齢)ごとの子どもと保育者の関わり方を理解し、適切な関わりを取ることができるようにする。 ③保護者と保育者の適切な関わりのあり方が、保育に影響するということが理解できるようにする。				
授業の方法				
講義、ビデオ視聴観察、事例研究、グループディスカッション				
学習の成果(学習成果)				
子どもの成長段階での人との関わりの登頂と意味がわかり、保育者・保護者としてどのように対応することが望ましいかを実践できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	幼児期の教育の特徴			
第2回目	領域の考え方			
第3回目	私たちにとって人間関係とは			
第4回目	0歳児の人との関わりと保育			
第5回目	1歳児の人との関わりと保育			
第6回目	2歳児の人との関わりと保育—①(知る)			

第7回目	2歳児の人との関わりと保育―②（考察する）
第8回目	3歳児の人との関わりと保育―①（知る）
第9回目	3歳児の人との関わりと保育―②（考察する）
第10回目	4歳児の人との関わりと保育―①（知る）
第11回目	4歳児の人との関わりと保育―②（考察する）
第12回目	5歳児の人との関わりと保育―①（知る）
第13回目	5歳児の人との関わりと保育―②（考察する）
第14回目	気になることとの関わりと援助
第15回目	保護者との関わりのあるあり方

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	出席を重視する。私語、居眠り厳禁。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	70%	講義内容に対しての理解がなされ、的確な回答が記述されているか。
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書：演習保育内容人間関係（建帛社）
参考図書：幼稚園教育要領

履修上の留意点・ルール

私語が多い場合は退席させる時もある。